

第1回 小田原市・足柄下地区資源化検討会  
小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化協議会会長あいさつ

皆様こんにちは。

小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化協議会の会長を仰せ付かっております、小田原市長の加藤でございます。皆様におかれましては、大変お忙しい中に、本検討会の委員を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

また、この検討会に対しましては、環境政策の分野で大変高名でいらっしゃいます、静岡県立大学名誉教授の横田先生に御参画をいただいております。先生には、近くであります秦野市伊勢原市環境衛生組合のクリーンセンター施設検討委員会の委員長なども務められました大変豊富なご経験を基に、専門的なお立場からのご指導をいただきましたと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

さて、皆様もご承知のとおり、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の1市3町では、平成18年度に「小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化協議会」を設立いたしまして、ごみの広域的な処理についての検討を重ねてまいりました。そして、この6月には、ごみ処理の広域化を進めていく上での考え方や取り組みなどを報告書にまとめまして、より多くの方のご意見を伺うために、住民の皆様にお示しをしているところでございます。

この中で、燃せるごみの排出量の4割から5割を占めるということになります、家庭から出る生ごみ、剪定枝の資源化につきまして、より詳細な議論、検討を行うために、この検討会が発足をした次第でございます。

皆様にご議論をいただきますその結果は、来年度に取りまとめを予定しております小田原市・足柄下地区のごみ処理広域化実施計画の素案の方に反映させる、その基になるものとして、大変重要なものでございます。

また同時に、この検討経過を踏まえて資源化が進んでいけば、平成32年に整備を予定しております焼却施設の規模を、可能な限り小さく抑えることができるということになりますので、ぜひ委員の皆様には、それぞれのお立場から、さまざまなご提案、ご議論を賜りますよう、よろしく願いしたいと思います。

最後になりますが、この場はできるだけ開かれた形で、また、いろいろな情報を率直に出し合って、意見をぶつけ合って、有意義な議論をぜひ展開していただきたいと思っておりますので、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

以上で私のあいさつとさせていただきます。よろしく願いいたします。